

国有林野と現行計画の概要 (四万十川森林計画区)

国有林野の森林計画に関する地区懇談会

令和7年8月18日
四国森林管理局



国民の森林
国有林



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 四万十川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 多様な森林づくりの推進	27
		8) 木材安定供給への取組	28
		9) 森林・林業技術者等の育成支援	29
		10) レクリエーションの森	30
		11) 保護林	31
		12) 国民の参加による森林の整備	32
		13) 民有林との連携	33
		14) 国有林の維持・保全	34



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の森林計画の概要	1) 四万十川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 多様な森林づくりの推進	27
		8) 木材安定供給への取組	28
		9) 森林・林業技術者等の育成支援	29
		10) レクリエーションの森	30
		11) 保護林	31
		12) 国民の参加による森林の整備	32
		13) 民有林との連携	33
		14) 国有林の維持・保全	34

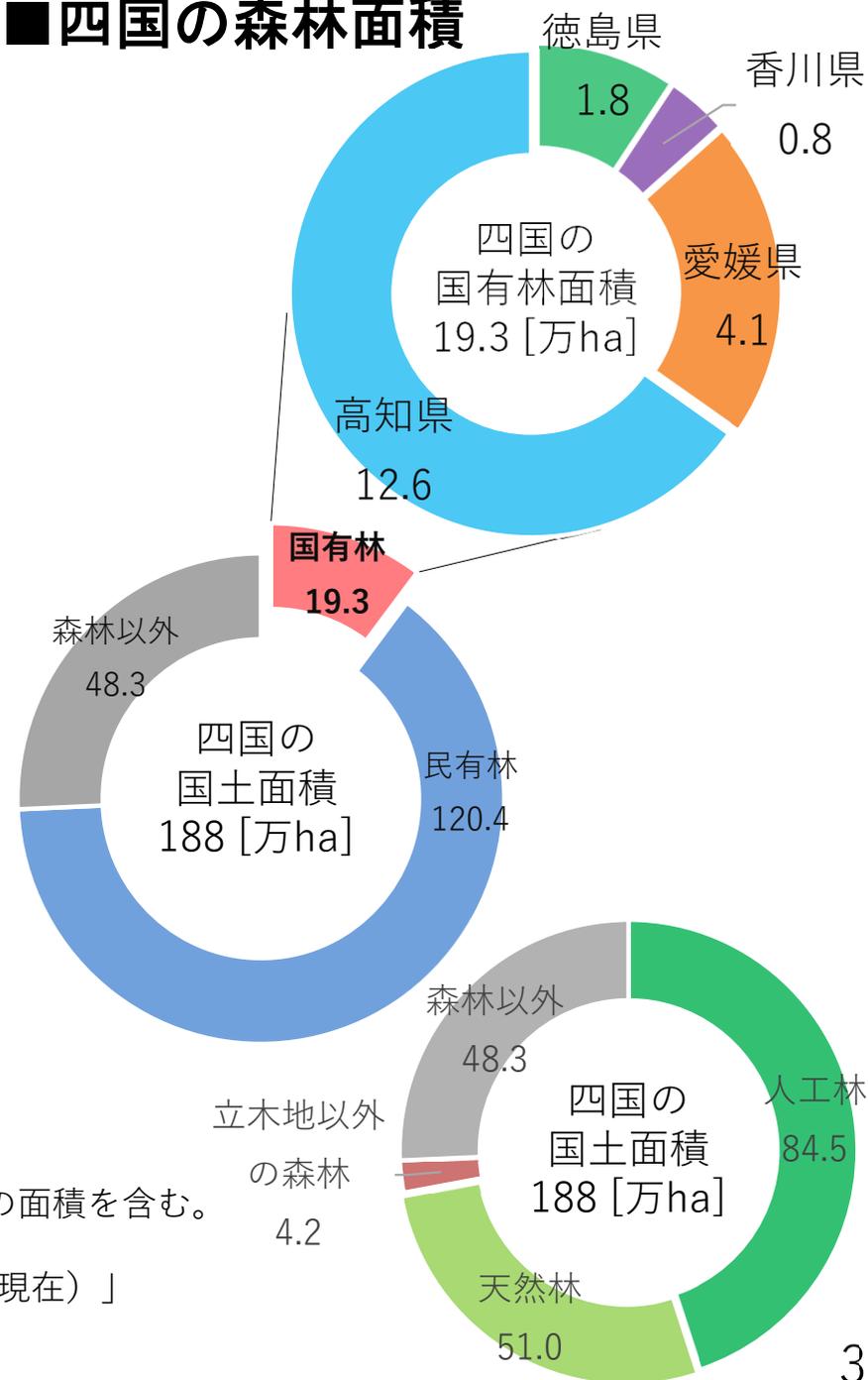
1.1) 四国の森林の概要



■ 四国の森林の概要

都道府県	森林			国有林		人工林	
	面積 (万ha)	森林率	森林蓄積 (万m3)	面積 (万ha)	国有林率	面積 (万ha)	人工林率
徳島県	31.5	76% 全国9位	10,396	1.8	6%	19.0	60% 全国9位
香川県	8.8	47% 全国37位	713	0.8	9%	2.3	27% 全国43位
愛媛県	40.1	71% 全国19位	12,422	4.1	10%	24.4	61% 全国6位
高知県	59.4	84% 全国1位	20,777	12.6	21%	38.7	65% 全国2位
四国計	139.8	74%	44,309	19.3	14%	84.5	60%
全国	2,502.5	67%	556,020	765.7	31%	1,009.3	40%

■ 四国の森林面積

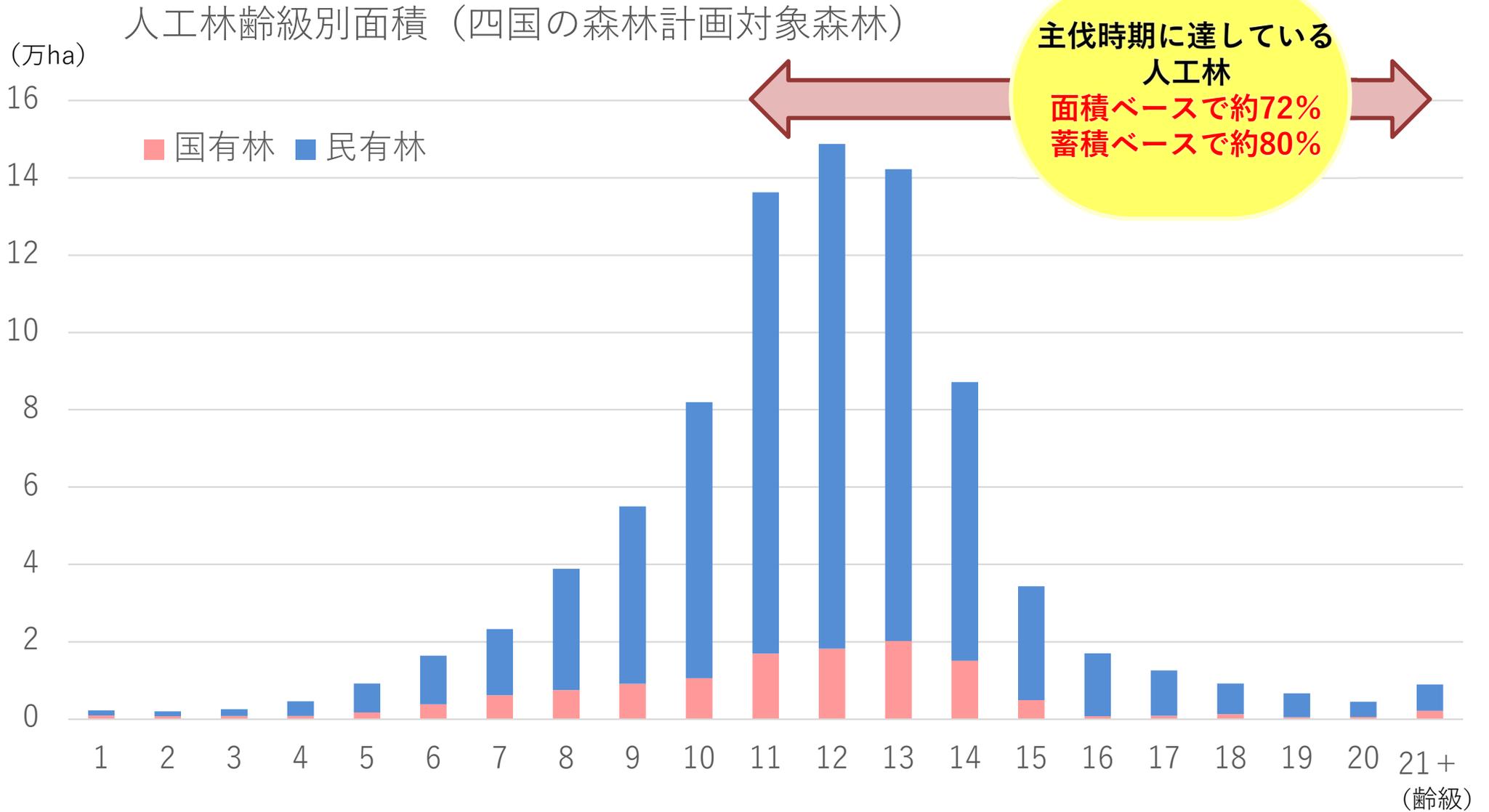


注1: 計の不一致は四捨五入による。

注2: 国有林面積には官行造林地、計画対象外国有林、他省庁所管国有林の面積を含む。

資料: 林野庁 統計情報「森林資源の現況 (令和4年3月31日現在)」、
林野庁 統計情報「都道府県別森林率・人工林率 (令和4年3月31日現在)」

1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



注1：齢級とは、林齢を5年の幅でくくった単位。

人工林は苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1齢級」と数える。

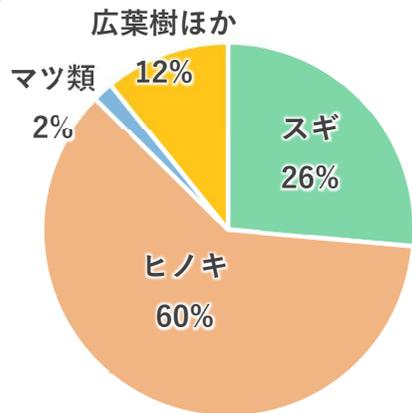
2：国有林には官行造林地を含む。

資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

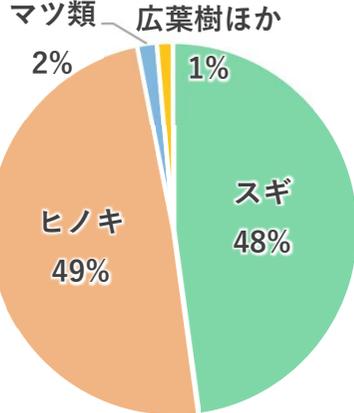
1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



愛媛県 人工林樹種別割合

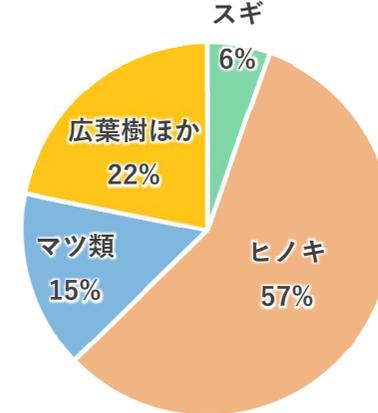


(国有林)

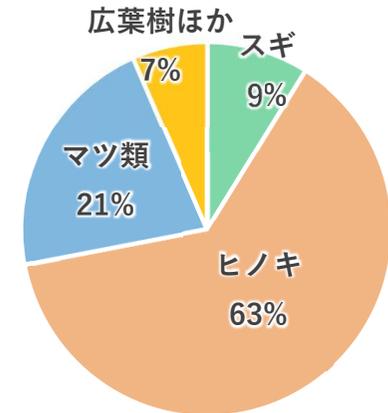


(民有林)

香川県 人工林樹種別割合

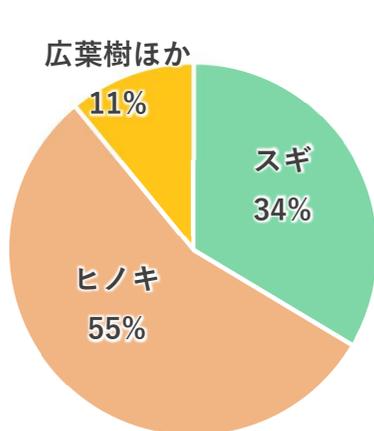


(国有林)

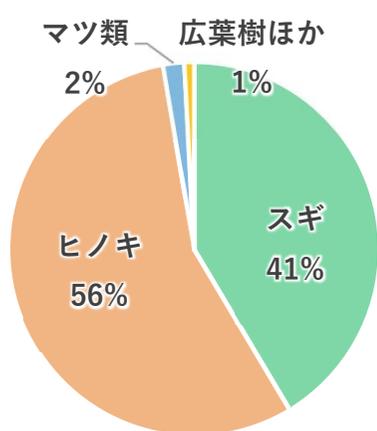


(民有林)

高知県 人工林樹種別割合

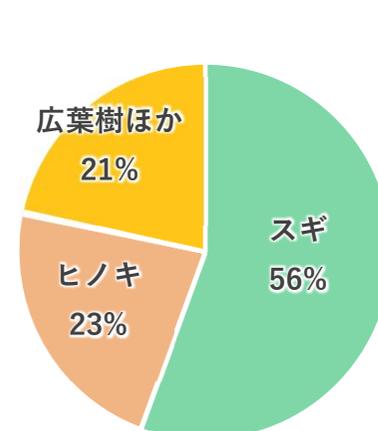


(国有林)

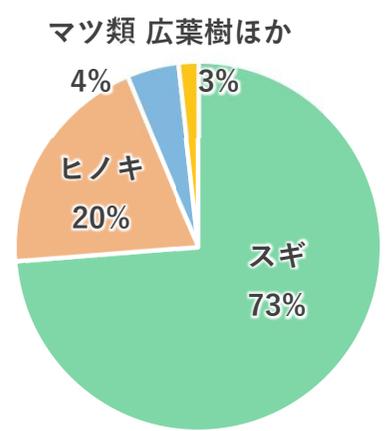


(民有林)

徳島県 人工林樹種別割合



(国有林)



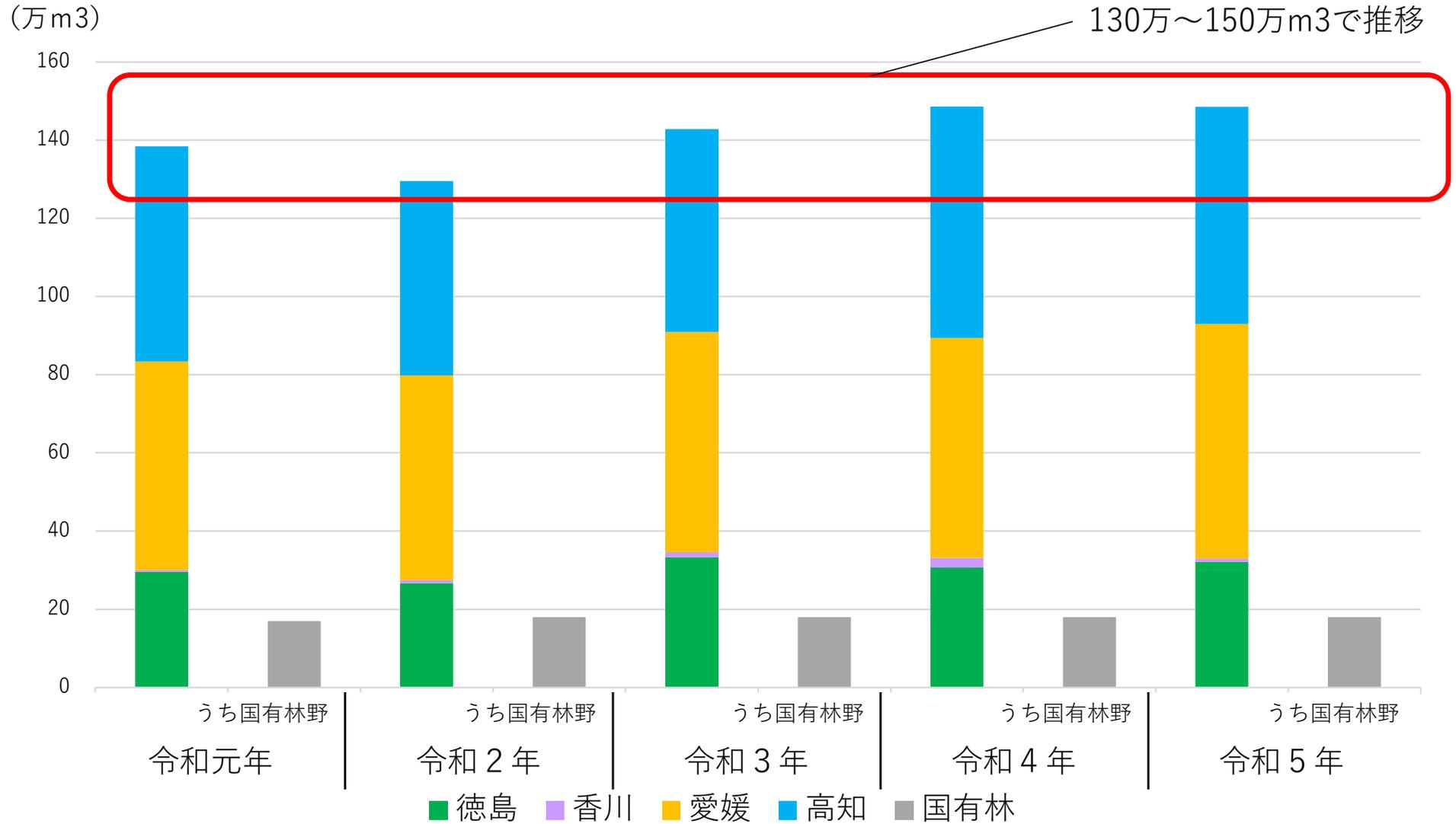
(民有林)

注：国有林には官行造林地を含む。
資料：林野庁 統計情報 森林資源の現況（令和4年3月31日現在）

1.3) 素材生産量の推移

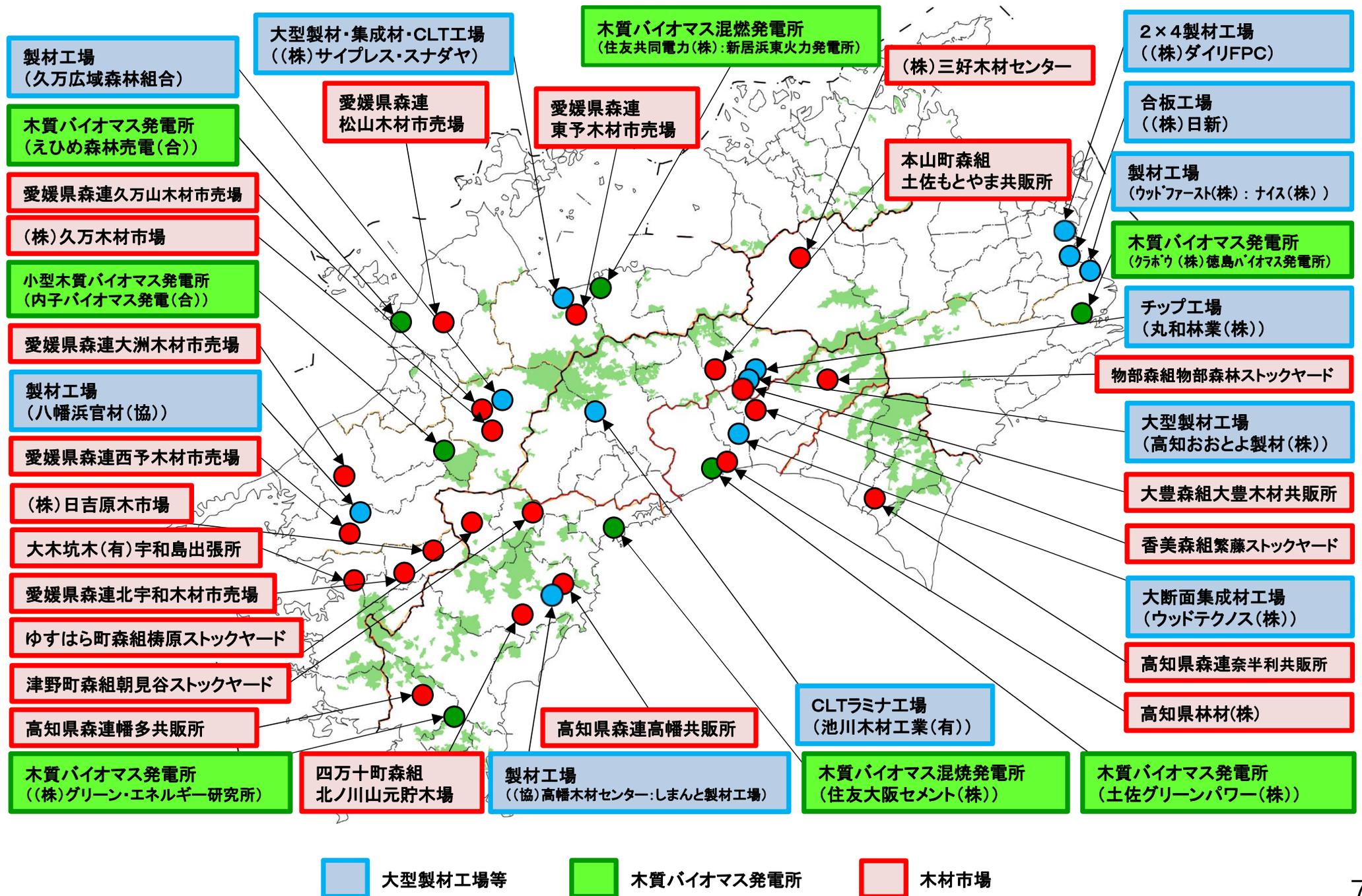


四国における素材生産量の推移（過去5年分）



資料：農林水産省「木材需給報告書」（R元～R4年）、
農林水産省「木材統計」（R5年）、
四国森林管理局「四国森林管理局事業統計書」（R元～R5年）

1.4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置





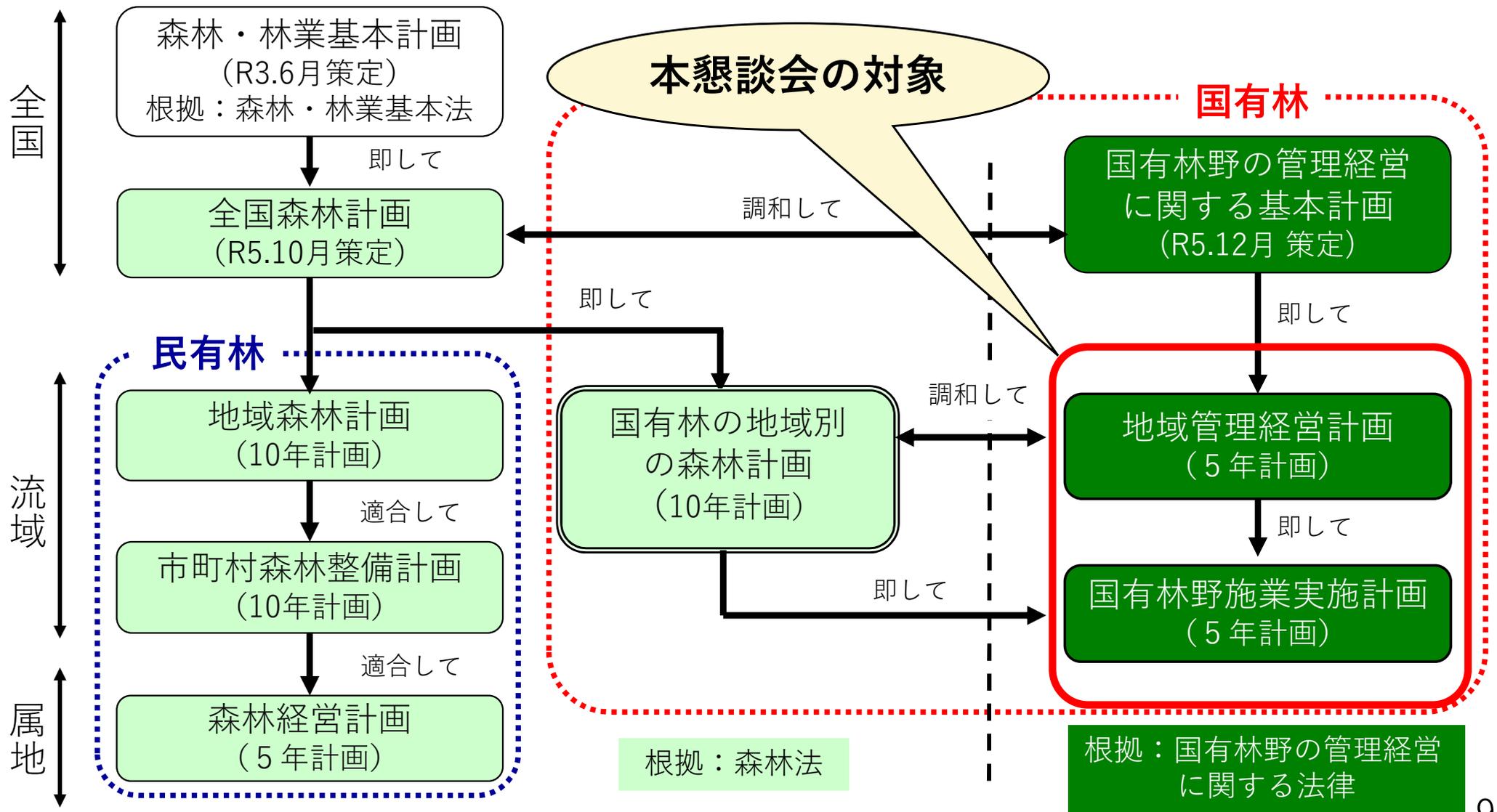
1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の森林計画の概要	1) 四万十川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 多様な森林づくりの推進	27
		8) 木材安定供給への取組	28
		9) 森林・林業技術者等の育成支援	29
		10) レクリエーションの森	30
		11) 保護林	31
		12) 国民の参加による森林の整備	32
		13) 民有林との連携	33
		14) 国有林の維持・保全	34

2.1) 我が国の森林計画制度



○森林の有する多面的機能（国土の保全・水源の涵養・生物多様性の保全・地球温暖化の防止・木材の生産等）が持続的に発揮されるよう、森林を計画的に整備・保全する必要がある。

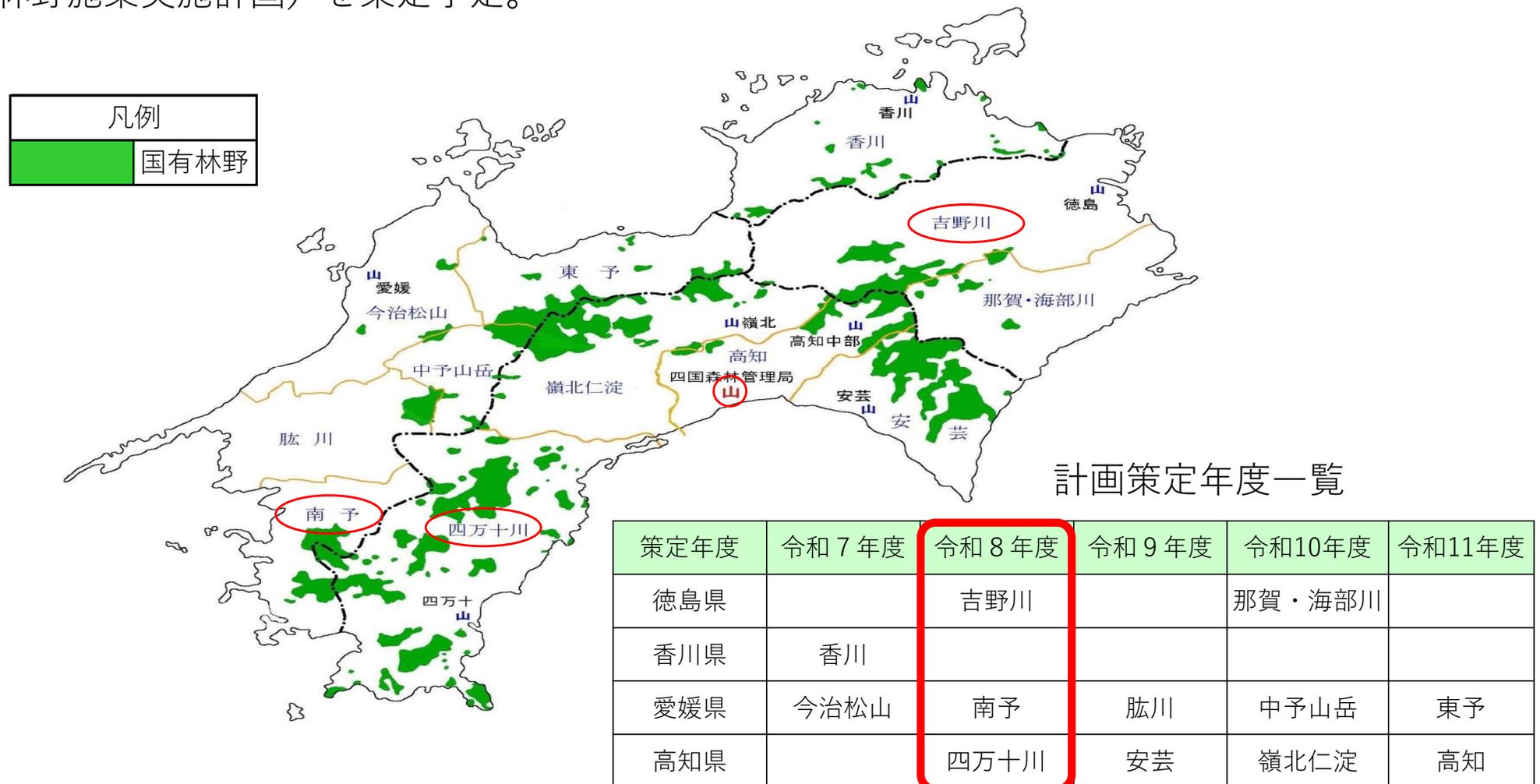
○計画的な森林の整備・保全により林業の担い手を確保し、林業を積極的かつ健全に発展させる。



2.2) 四国の森林計画区



- 「流域」という考え方を基準にして、森林計画区を設定。森林計画区ごとに計画を策定。
- 四国には、12の森林計画区。
- このうち、吉野川森林計画区（徳島県）、南予森林計画区（愛媛県）、四万十川森林計画区（高知県）は、来年度（令和8年度）に次期の地域管理経営計画等（地域管理経営計画・国有林野施業実施計画）を策定予定。



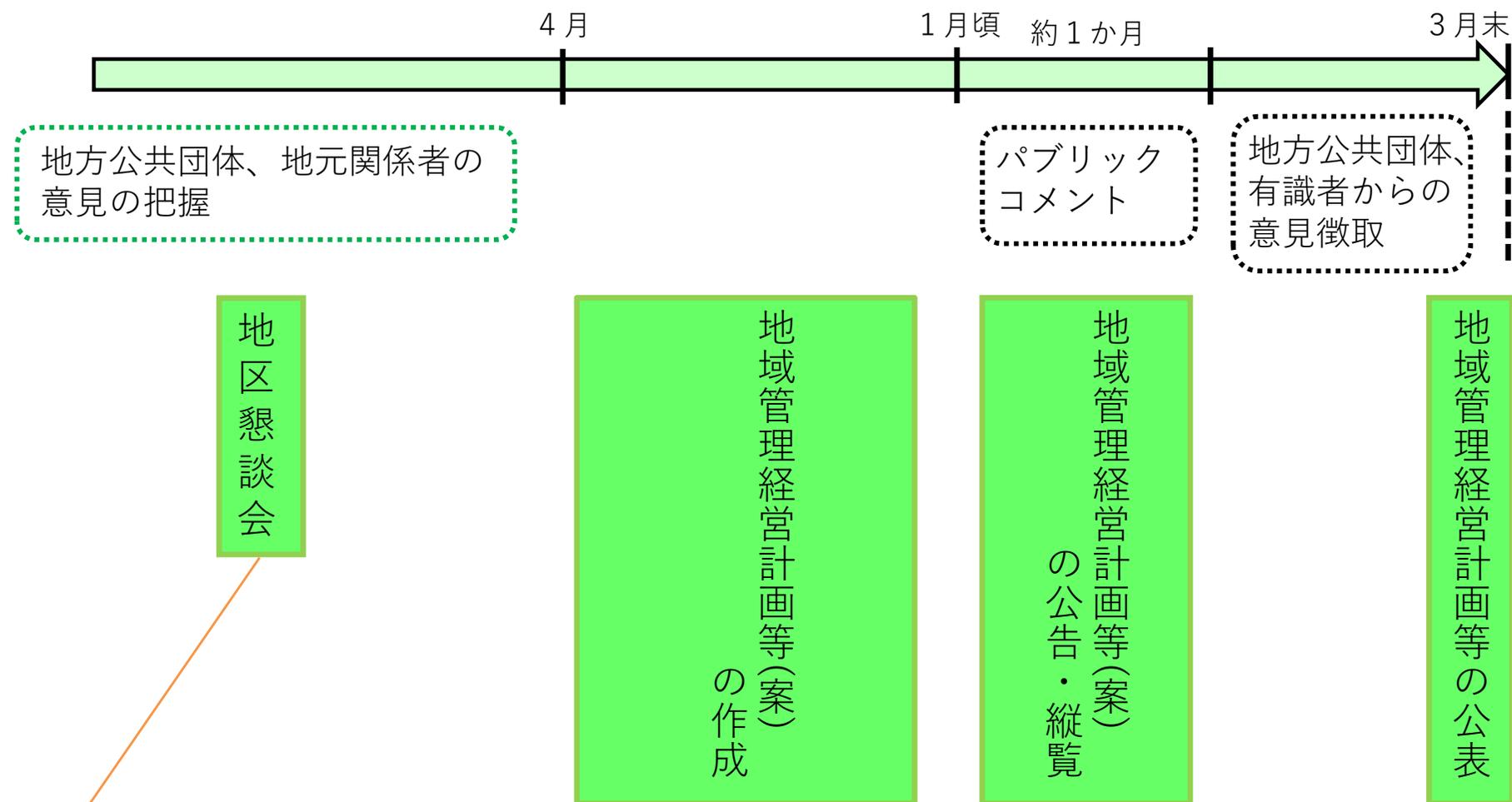
2.3) 森林計画策定のプロセス



(四万十川森林計画区)

R7年度

R8年度(策定年度)



本日の【地区懇談会】

地域管理経営計画等の計画策定に着手する段階で、地域の多様な関係者からのご意見をいただく場として設定



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の森林計画の概要	1) 四万十川森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 多様な森林づくりの推進	27
		8) 木材安定供給への取組	28
		9) 森林・林業技術者等の育成支援	29
		10) レクリエーションの森	30
		11) 保護林	31
		12) 国民の参加による森林の整備	32
		13) 民有林との連携	33
		14) 国有林の維持・保全	34

3.1) 四万十川森林計画区の特徴



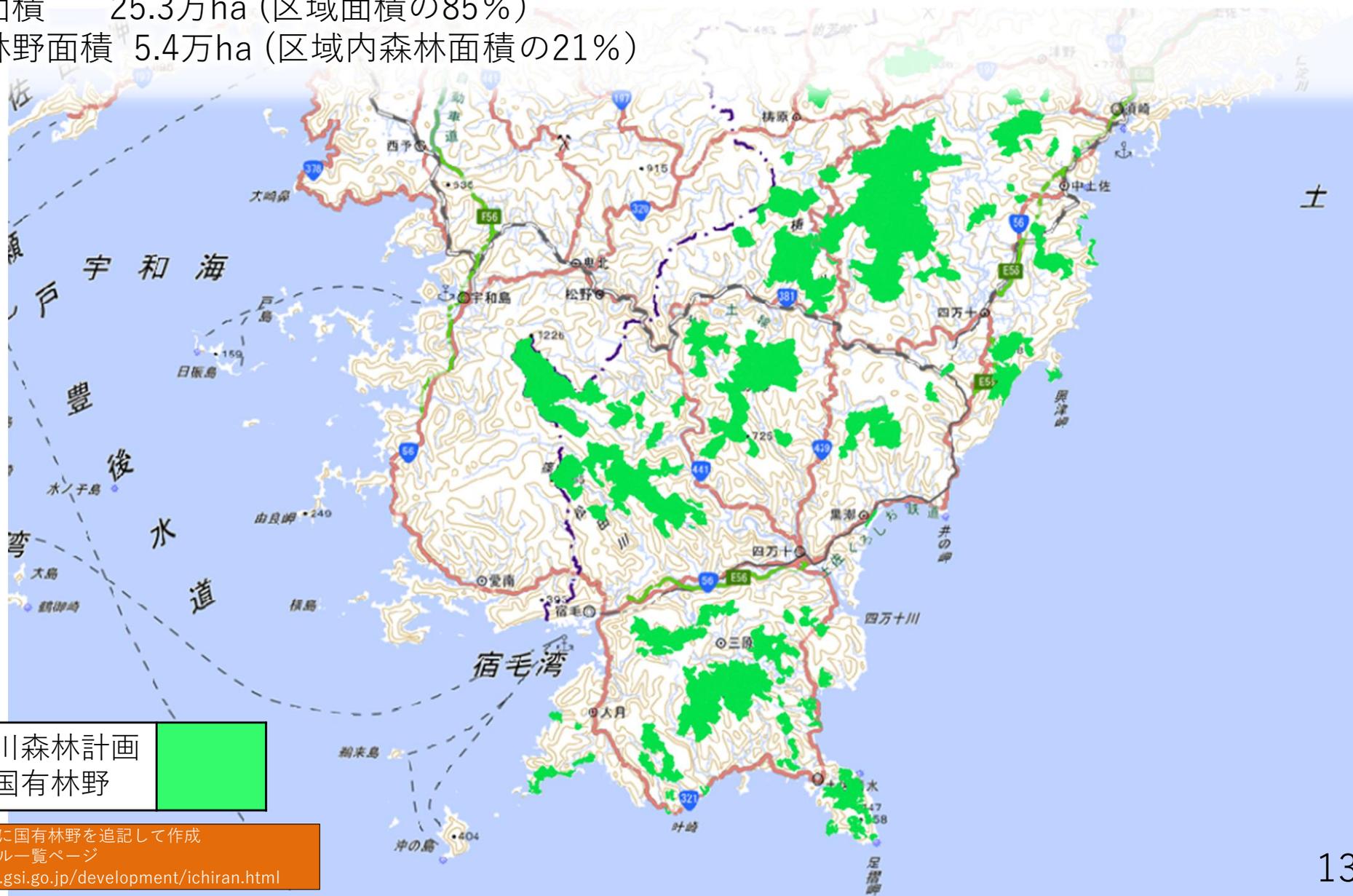
四万十川森林計画区の範囲：高知県西部

須崎市、四万十市、宿毛市、土佐清水市、幡多郡全域、高岡郡の大部分

○区域面積 29.7万ha

○森林面積 25.3万ha (区域面積の85%)

○国有林野面積 5.4万ha (区域内森林面積の21%)

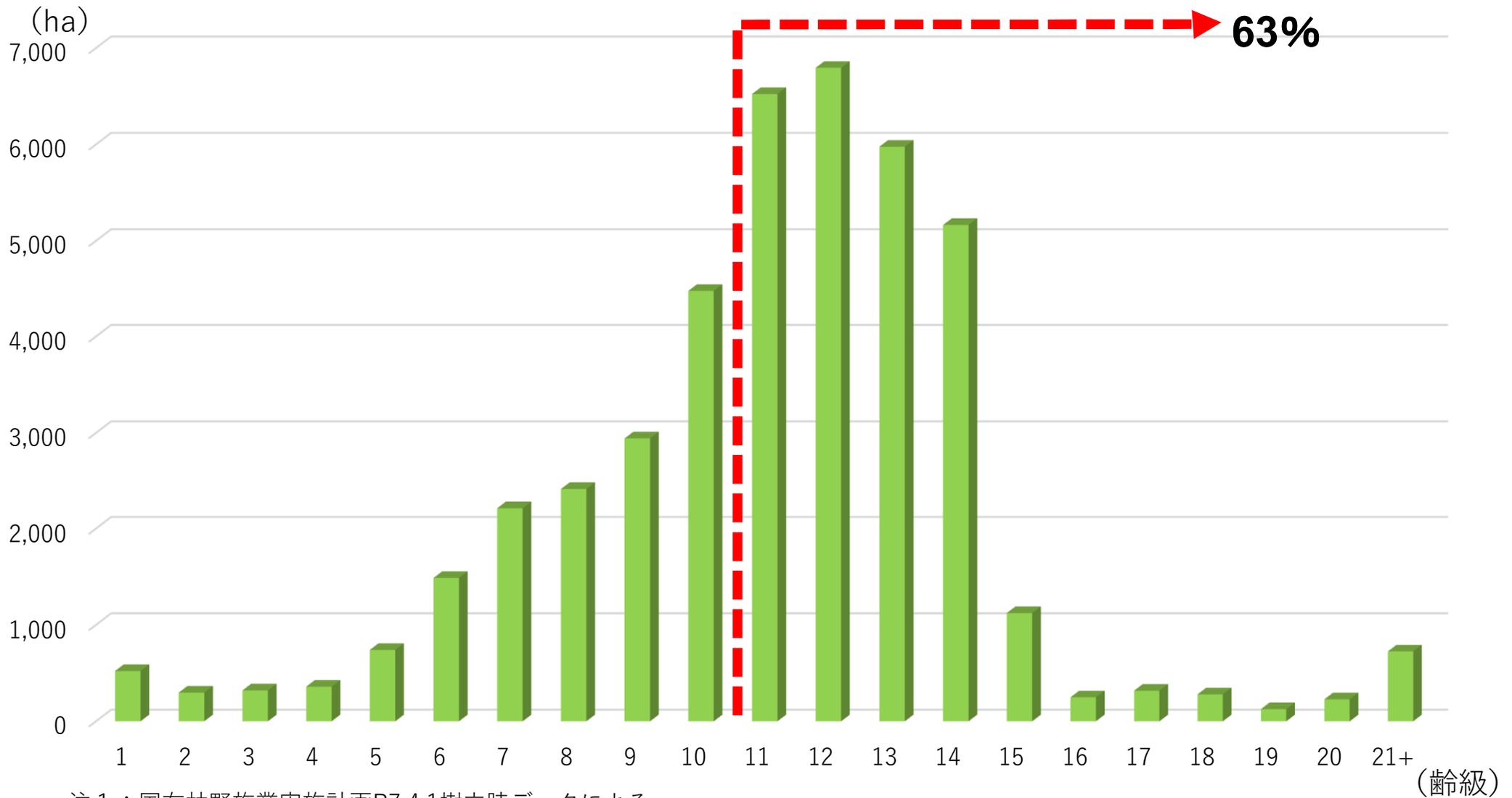


3.1) 四万十川森林計画区の特徴



○四万十川森林計画区の国有林野で、利用可能な段階を迎えている11齢級以上（51年生以上）の人工林は63%。

人工林の齢級別林地面積（四万十川森林計画区のうち国有林野）



注1：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。

注2：表中の林地面積には官行造林を含まない。

3.2) 機能類型区分



機能類型区分	機能類型区分の考え方	施業方法
山地災害防止タイプ 	土砂流出・崩壊防備エリアと気象害防備エリアの2つに区分して取り扱う。 ○土砂流出・崩壊防備エリア 土砂の流出、崩壊等山地災害による人命・施設の被害の防備を目的とする森林 ○気象害防備エリア 風害、飛砂、潮害、濃霧等の気象害による居住・産業活動に係る環境の悪化の防備を目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
自然維持タイプ 	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等、自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
森林空間利用タイプ 	スポーツ又はレクリエーション、教育、文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市又はその周辺の風致の維持に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業
快適環境形成タイプ	汚染物質の吸着能力が高く、かつ、抵抗性があり、葉量の多い樹種によって構成される森林	※四国の国有林野では該当なし
水源涵養タイプ 	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業

育成単層林



樹齢・樹高が単一の森林として人為により成立・維持

育成複層林



樹齢・樹高が複数の森林として人為により成立・維持

天然生林



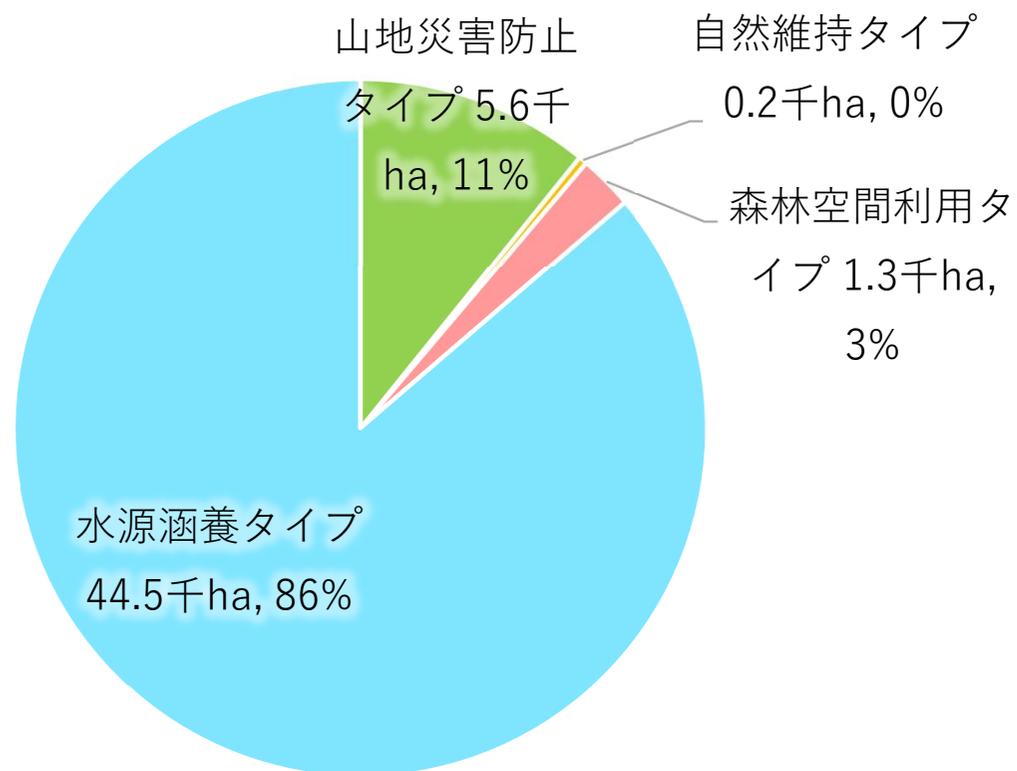
自然散布の種子の発芽・生育等、天然力により成立・維持

3.2) 機能類型区分

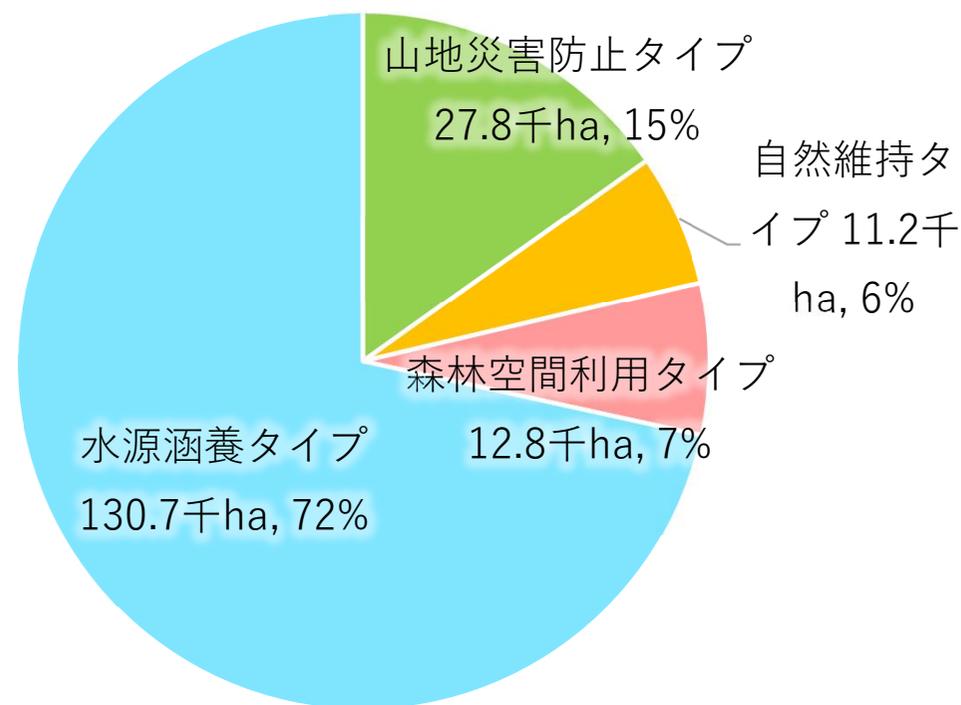


○四万十川森林計画区では四国の平均に比較して水源涵養タイプの割合が大きく、その他3つのタイプの割合が小さい。

四万十川森林計画区内の国有林の機能類型区分



四国の国有林の機能類型区分

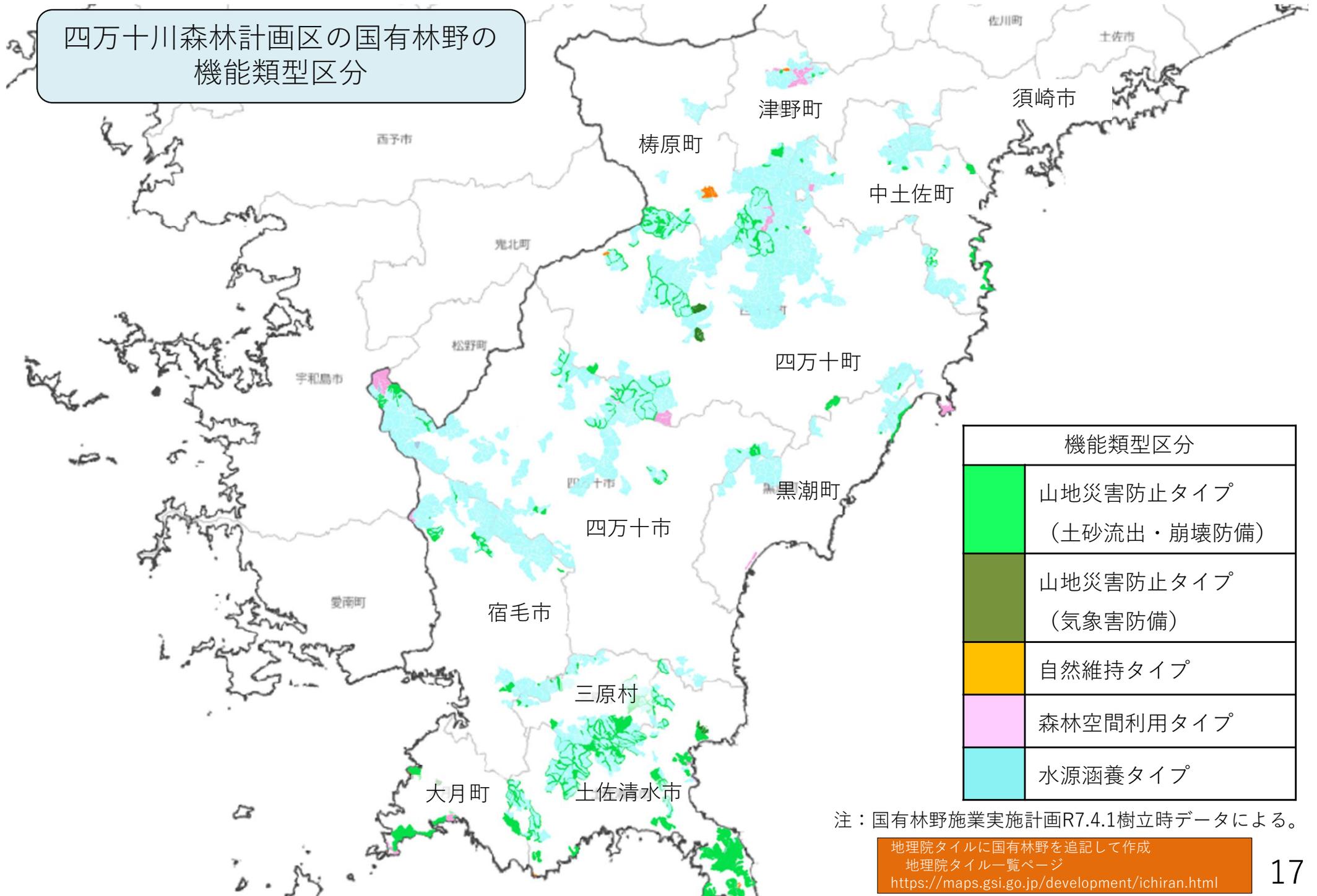


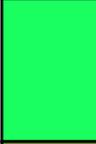
注：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。

3.2) 機能類型区分



四万十川森林計画区の国有林野の
機能類型区分



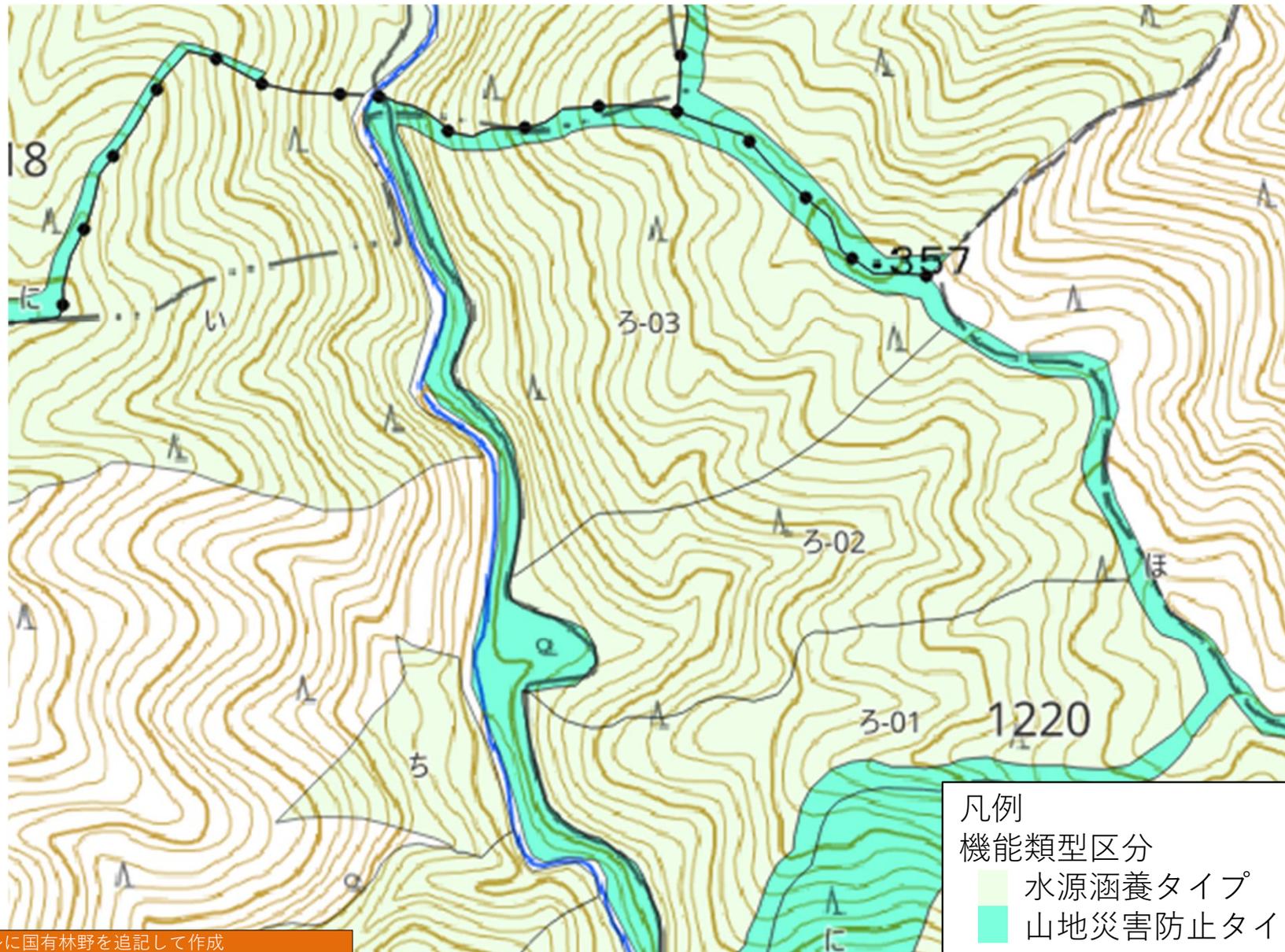
機能類型区分	
	山地災害防止タイプ (土砂流出・崩壊防備)
	山地災害防止タイプ (気象害防備)
	自然維持タイプ
	森林空間利用タイプ
	水源涵養タイプ

注：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。

3.3) 林地保全に配慮した施業の推進



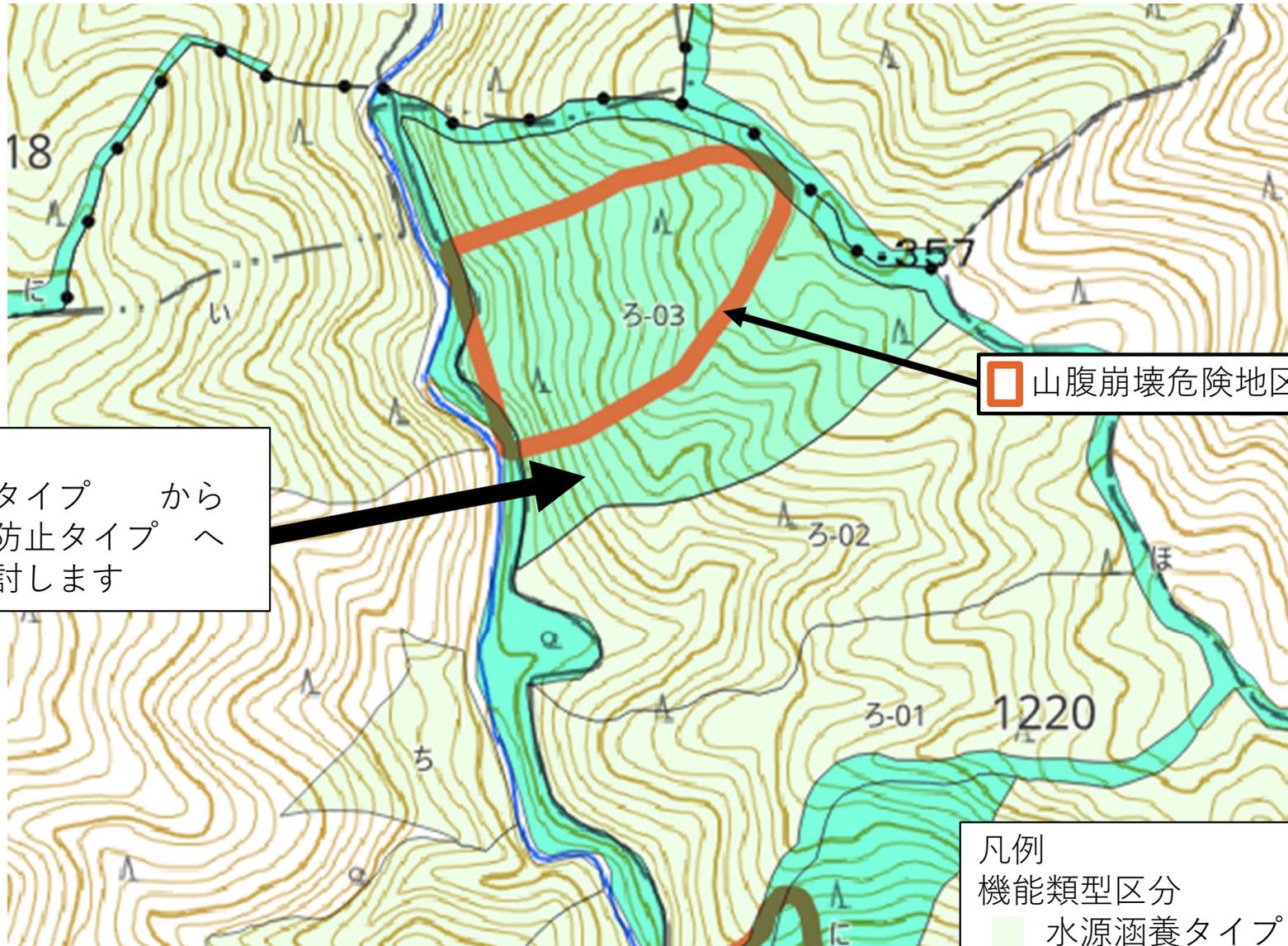
現在の機能類型区分(四万十川森林計画区のうち土佐清水市下ノ加江)



3.3) 林地保全に配慮した施業の推進



機能類型区分の変更を検討中(四万十川森林計画区のうち土佐清水市下ノ加江)



機能類型
水源涵養タイプ から
山地災害防止タイプ へ
変更を検討します

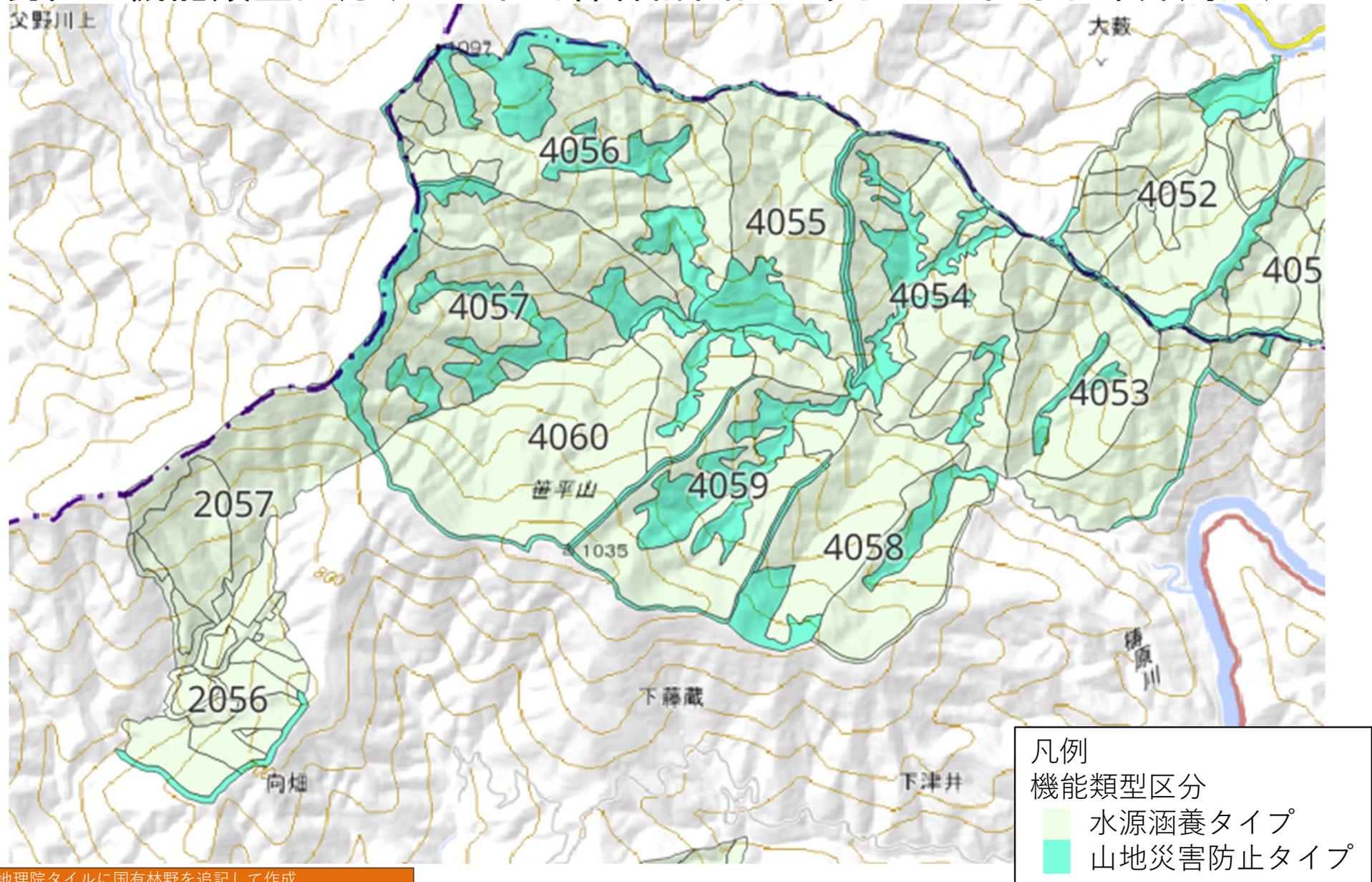
山腹崩壊危険地区

凡例
機能類型区分
水源涵養タイプ
山地災害防止タイプ

3.3) 林地保全に配慮した施業の推進



現在の機能類型区分(四万十川森林計画区のうち四万十町下津井周辺)



3.3) 林地保全に配慮した施業の推進

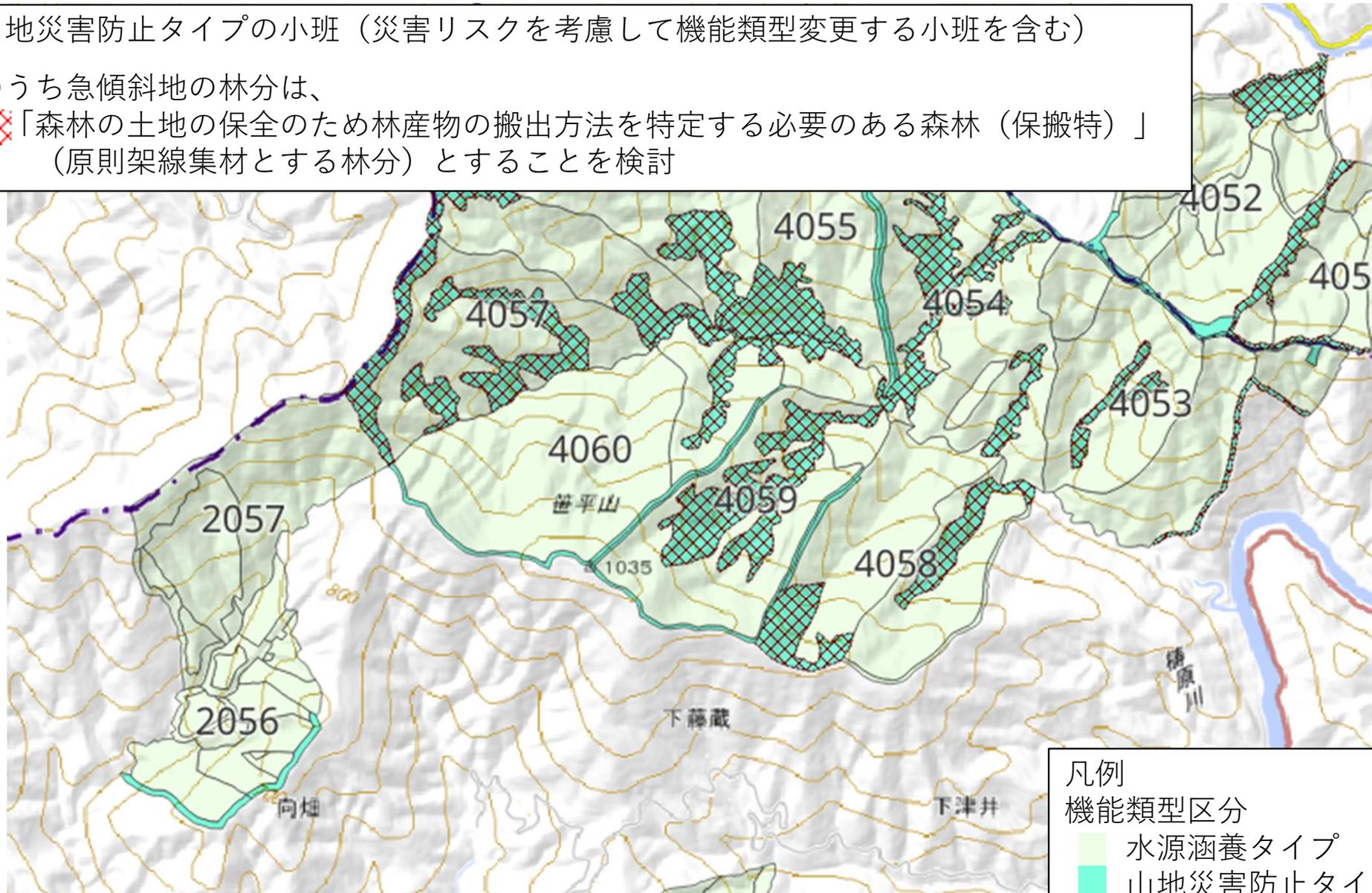


保搬特の設定を検討中(四万十川森林計画区のうち四万十町下津井周辺)

■ 山地災害防止タイプの小班 (災害リスクを考慮して機能類型変更する小班を含む)

このうち急傾斜地の林分は、

▨ 「森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林 (保搬特)」
(原則架線集材とする林分) とすることを検討



3.4) 主要事業の実施状況



主要事業量

【四万十川森林計画区の国有林野】

		計画量 (令和4年度 ～ 令和8年度)	実績量 (令和4年度 ～ 令和7年6月まで)	進捗率
伐採	主伐 (m3)	562,291	113,179	20%
	間伐 (m3)	1,000,932	382,064	38%
	合計	1,563,223	495,243	32%
造林・保育	人工造林 (ha)	1,219	252	21%
	下刈 (ha)	3,491	1,188	34%
	除伐 (ha)	484	68	14%
	つる切 (ha)	28	0	-
林道	開設 (m)	6,720	440	7%
	改良 (m)	80,700	4,161	5%
治山	保全施設 溪間工 (箇所)	41	5	12%
	保全施設 山腹工 (箇所)	9	6	67%
	保安林の整備 (ha)	731	106	15%



注：計画量は、第六次国有林野施業実施計画書（四万十川森林計画区）による。

3.5) 新しい林業の実現に向けて



森林・林業基本計画（令和3年6月）

多様で健全な森林への誘導イメージ

- ①森林の有する多面的機能の発揮と
- ②林産物の供給及び利用を図り、多様で健全な森林へ誘導していくこととする。



育成単層林

樹齢・樹高が単一の森林として人為により成立・維持



育成複層林

樹齢・樹高が複数の森林として人為により成立・維持

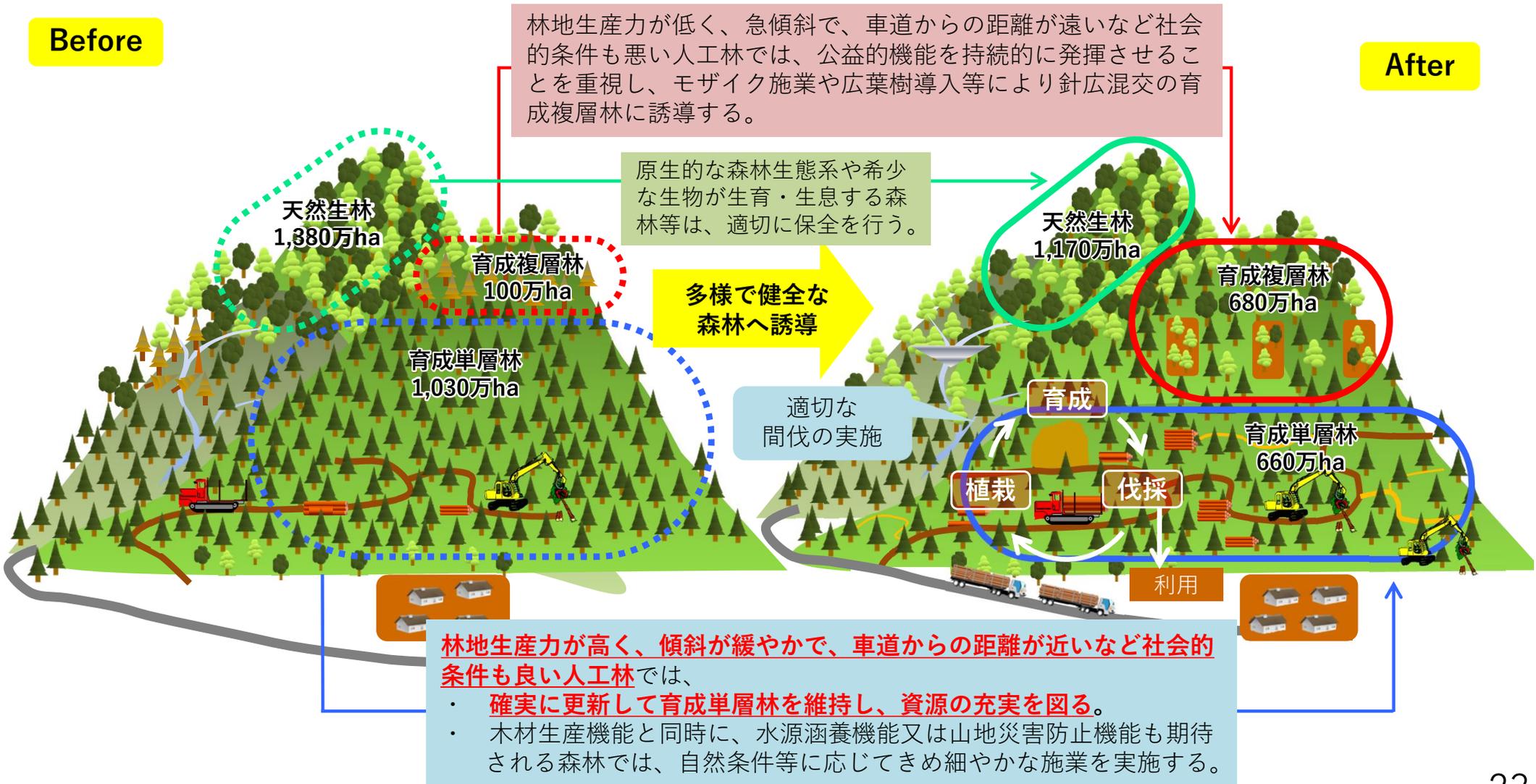


天然生林

自然散布の種子の発芽・生育等、天然力により成立・維持

Before

After



3.6) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（特効森林）の設定の背景等

■ 現状と対応方針

- ▶ 国有林野事業では、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献していくこととしている。
- ▶ このような中、森林・林業基本計画では、「新しい林業」の実現に向けた取組の展開、担い手の育成、国産材の安定供給体制の構築等が課題。

公益重視の管理経営を推進しつつ、上記の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施や民有林関係者への普及、担い手の育成等の取組を効果的に進めるため、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い人工林を特定することとする。

■ 取組内容

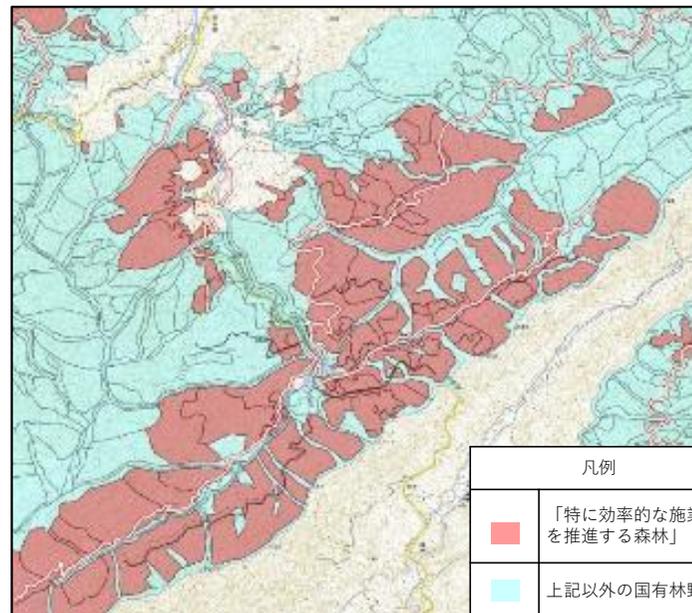
「特に効率的な施業を推進する森林」の設定

- ▶ 水源涵養タイプの人工林のうち、**林道等からの距離が近く、地位が比較的高く、傾斜が比較的緩い森林を「特に効率的な施業を推進する森林」として設定。**
- ▶ 地域の民有林関係者等に「特に効率的な施業を推進する森林」の対象森林が明らかとなるよう、地域管理経営計画等に当該森林を位置付け、公表。

「特に効率的な施業を推進する森林」での取組

- ▶ 自然条件等の良い人工林であることから、水源涵養機能の発揮に支障を生じさせない範囲で、以下の取組を推進。
 - ・ **造林の省力化・低コスト化等の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施**や、現地検討会を通じた民有林関係者等への普及
 - ・ **事業発注**を通じた林業事業体の育成
 - ・ **樹木採取権**による林業経営体の経営基盤の強化や分収造林を活用した経営規模拡大の支援等

■ 「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と運用のイメージ



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及

事業発注を通じた林業事業体の育成

木材の安定供給に資する林道の機能強化

このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

3.6) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（特効森林）の設定の考え方

多様な森林づくりに向けた人工林の誘導イメージ

～地位・傾斜・車道からの距離で区分した場合～

地形や地位等の自然条件や路網整備等の社会的条件を踏まえて、人工林における森林施業のあり方（施業群等）を適宜見直していく必要。特に、今後施業が見込まれる車道からの距離が近いゾーンから優先的に見直し。

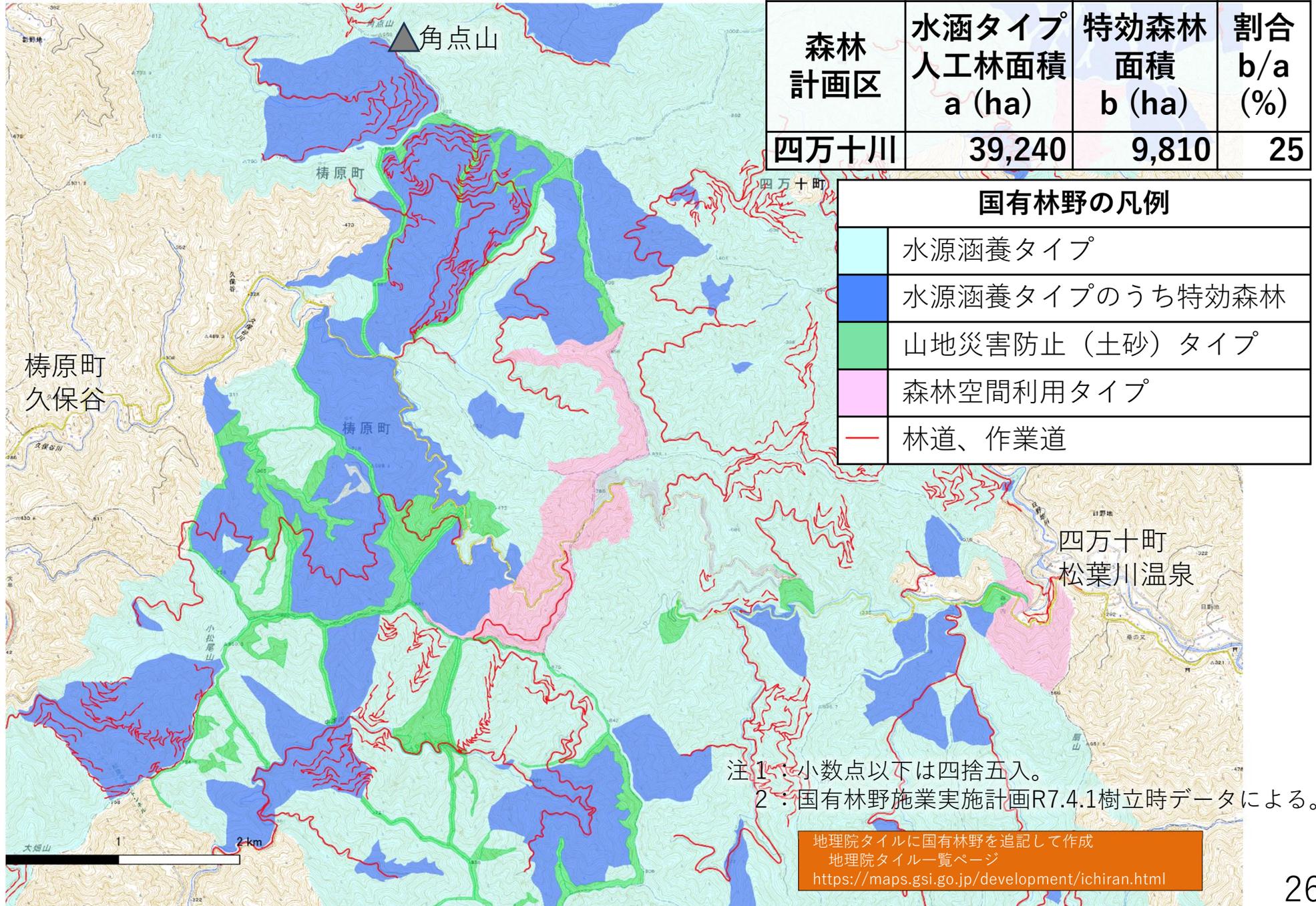
区分		【地形・土地の生産性の観点】			
		高 ←		→ 低	
		傾斜35度未満（中以下）		傾斜35度以上	
【経済性の観点】	高	地位：高（8以上）	地位：中（5～7）	うち傾斜35度未満 かつ 地位：高～中	又は 地位：低（4以下）
	低	地位：高（8以上）	地位：中（5～7）	うち傾斜35度未満 かつ 地位：高～中	又は 地位：低（4以下）
	車道からの距離 300m未満	I A 積極的な 主伐・再造林 (育成単層林を維持)	II 状況に応じて判断		III B 複層林化等 (育成複層林へ誘導)
	車道からの距離 300m以上	IV C 長伐期化 (育成単層林を維持)	V 状況に応じて判断		VI D 自然遷移 (育成複層林へ誘導)

R5年度に局内の全森林計画区の当該区域の森林を「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

3.6) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（特効森林）の設定の例



3.7) 多様な森林づくりの推進



- 国有林では育成複層林化等の取組を先導的に進めるため、自然条件や社会的条件を踏まえた育成単層林・育成複層林が適切に配置されたゾーニングを行い、多様で健全な森林づくりに重点的に取り組むこととしています。
- 三原村の国有林（765ha）を多様な森林づくり“見える化プロジェクト”の区域として設定し、天然力を活用した育成複層林施業及び針広混交林への誘導など多様な森林づくりに取り組むこととしている。
- また、平成31年4月に締結した「三原米の里多様な森林づくり協定」と連携した様々な森林施業も併せて実施する。

■“見える化プロジェクト”設定区域の概要

設定箇所：高知県幡多郡三原村 椎木谷山国有林1009林班外
設定面積：765ha

誘導の方向：設定区域を3つのゾーンに分けて“見せる”施業を実施し、目的に沿った森林へ誘導。

○三原米の里多様な森林づくり協定ゾーン

三原村との協定に基づいた育成複層林へと誘導。

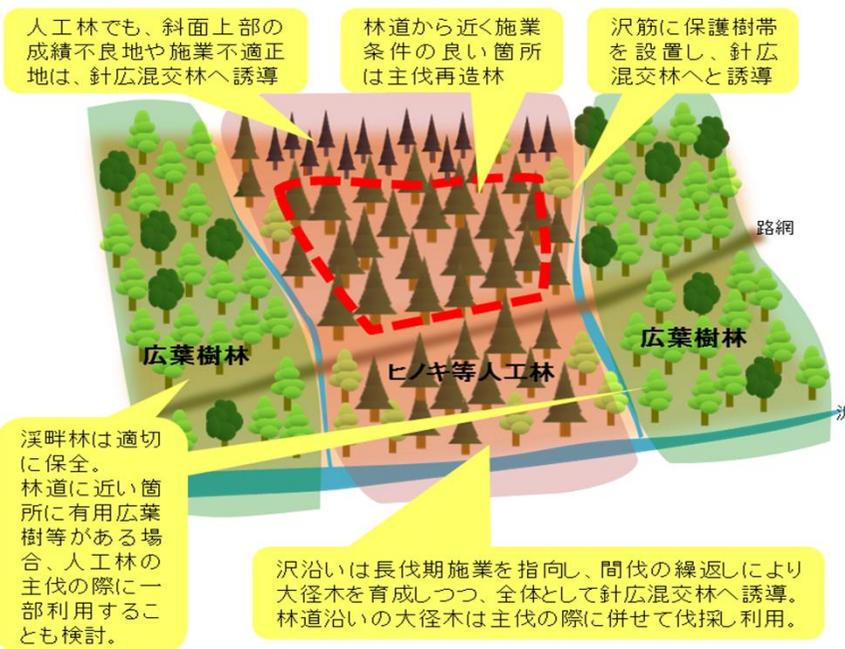
○三原村水源地ゾーン

水源涵養機能を重視した非皆伐施業を実施。

○多面的機能発揮ゾーン

公益的機能を発揮しつつ木材生産を実施するなど、森林の持つ多面的機能を発揮する森林へ誘導。

■三原米の里多様な森林づくりのイメージ



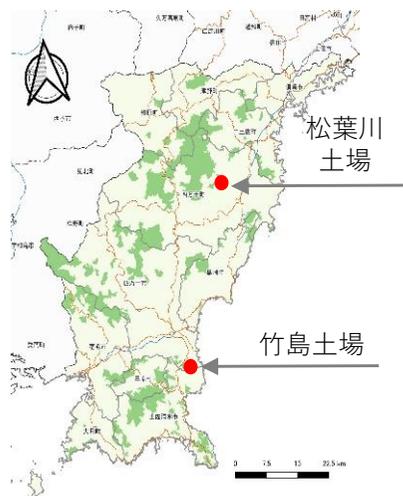
3.8) 木材の安定供給への取組



- 四万十市竹島及び四万十町松葉川土場の中間土場を活用した民有林と国有林の連携による国産材の安定供給を推進。
- 林業事業体の経営安定に資するため、事業期間を2～3年にわたって発注する複数年契約事業を推進。
- 立木を一定期間（10年）安定的に採取できる権利（樹木採取権）を設定。

■ 中間土場（ストックヤード）の整備箇所

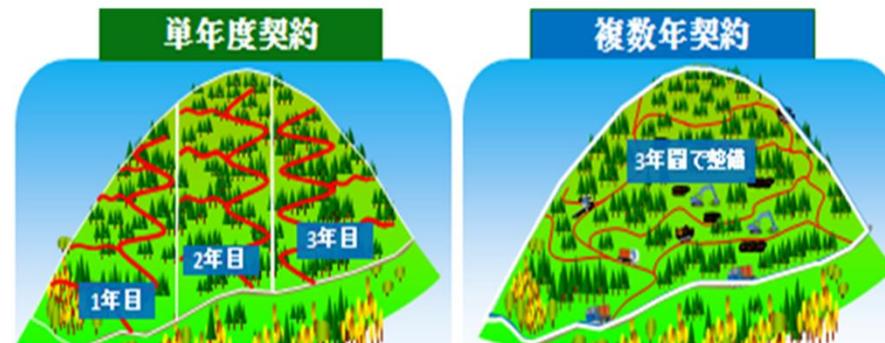
■ 複数年契約による森林整備（イメージ）



松葉川土場



竹島土場



■ 樹木採取権

- ・ 樹木採取区の所在地
高知県四万十町・中土佐町
- ・ 樹木採取区面積等
樹木採取区面積 290.86ha
採種可能面積 114.30ha

3.9) 森林・林業技術者等の育成支援



森林・林業セミナーIn四万十の開催

- 市町村林務担当者向けの技術的支援を目的として、令和4年度から四万十森林管理署が管轄する11市町村を幡多地区（6市町村）、須崎地区（5市町）に分け、高知県幡多林業事務所及び須崎林業事務所と連携・協力を行いながらセミナーの開催に取り組んでいます。
- 令和6年度は須崎地区、幡多地区にて各2回開催し、「列状間伐・定性（点状）間伐・間伐未実施に関する施業方法」の説明等を行いました。



セミナーの様子（令和6年10月30日）

3.10) レクリエーションの森



- 「レクリエーションの森」は、それぞれの森林の特徴や利用の目的に応じて、自然休養林、自然観察教育林、風景林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域、風致探勝林の6種類に区分されます。
- 四万十川森林計画区内の11か所で、レクリエーションの森を設定。

久保谷風景林

市ノ又溪谷風致探勝林

不入山風景林

四万十源流の森

轟谷山風景林

森ヶ内風景林

興津三崎風景林

足摺自然観察教育林

大堂風景林

篠山風景林

入野浜風景林

日飯島

瀬来島

水

叶崎

足摺岬

井の岬

四万十川

三崎

宿毛湾

宇和島

松野

中土佐

橋

精原

始末岬

483

197

17

137

381

156

55

15

936

915

726

726

99

宿毛

愛南

47

48

47

48

地理院タイルに国有林野を追記して作成
地理院タイル一覧ページ
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

3.11) 保護林



- 原生状態が残されている森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林、地域固有の生物群集を有する森林を「保護林」に設定。
- 保護林では、森林の状況を把握するため、継続的なモニタリング調査を実施。調査結果を踏まえ、必要な保護・管理を実施。
- 四万十川森林計画区内の6か所で保護林を設定。

古屋山大道マツ (遺伝資源) 希少個体群保護林、
梶ヶ谷山モミ (遺伝資源) 希少個体群保護林



(撮影協力：高知県警察本部)

弦場山ウバメガシ (遺伝資源) 希少個体群保護林



四万十川森林計画区
の国有林野

地理院タイルに国有林野を追記して作成
地理院タイル一覧ページ
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

小筋畝山コウヤマキ (遺伝資源) 希少個体群保護林



鷹取山生物群集保護林



佐田山ヤッコソウ (シイ遺伝資源) 希少個体群保護林



3.12) 国民の参加による森林の整備



- 国民参加の森林（もり）づくりの推進のため、NPO、企業、地元関係者等多様な主体と連携した取組みを進めます。
- 具体的には、「多様な活動の森」や「ふれあいの森」といった国有林の制度を活用して、NPO等が行う自主的な森林整備等へのフィールドの提供や必要な技術指導を行うなど、国民による国有林野の積極的な利用を推進します。

多様な活動の森

名称	面積 (ha)
黒尊天然林と地域遺産を巡る森	13
西土佐藤ノ川ヒノキ仙人の森	4

社会貢献の森

名称	面積 (ha)
入野松原ふれあいの森	34

「森の巨人たち100選」

名称	位置
四万十檜仙人	2010い林小班
四万十源流のモミ	3250と林小班



黒尊歩道整備



入野松原整備



四万十檜仙人

3.13) 民有林との連携



○四万十森林管理署では、民有林の森林所有者等と森林整備推進に関する協定を締結。協定に基づき、国有林と隣接する民有林とで施業を連携して実施する団地を設定し、国有林と民有林を一体とした効率的な森林整備を推進。

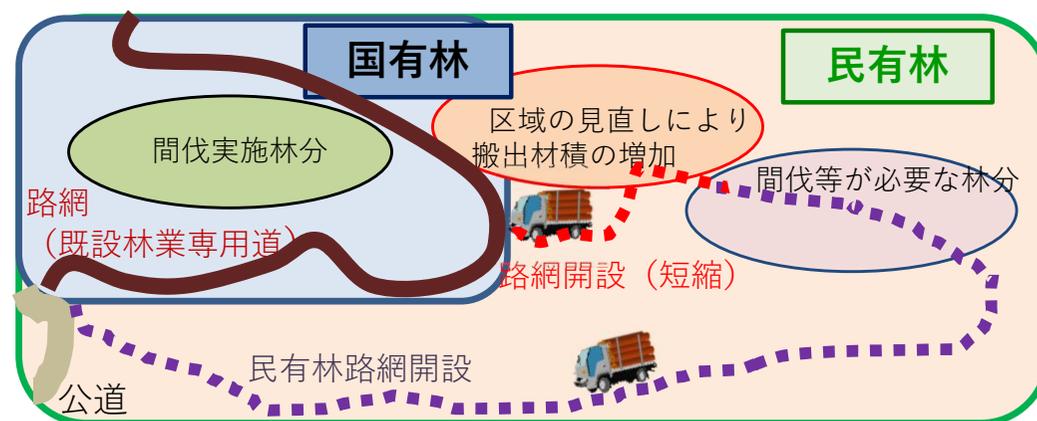
協定名	協定締結相手方	協定面積	連携した施業の内容
梶原町芹川地区森林施業協定	高知県、高知水源林整備事務所、梶原町、梶原町森林組合、後別当生産森林組合	431	間伐 作業道開設等
四万十市西土佐地域の森林整備推進に関する協定	高知水源林整備事務所	833	〃
興津地区森林整備推進協定	高知県、黒潮町、幡東森林組合	1,165	〃
宿毛市橋上町還住藪地域の森林整備推進に関する協定	宿毛市、高知県森林整備公社、宿毛市森林組合	387	〃

■ 森林整備・作業道開設の状況



興津地区森林整備推進協定

■ 森林施業集約化の促進及び運搬コストの削減（イメージ図）





ニホンジカ被害低減に向けて、「ついで」の捕獲協定を締結

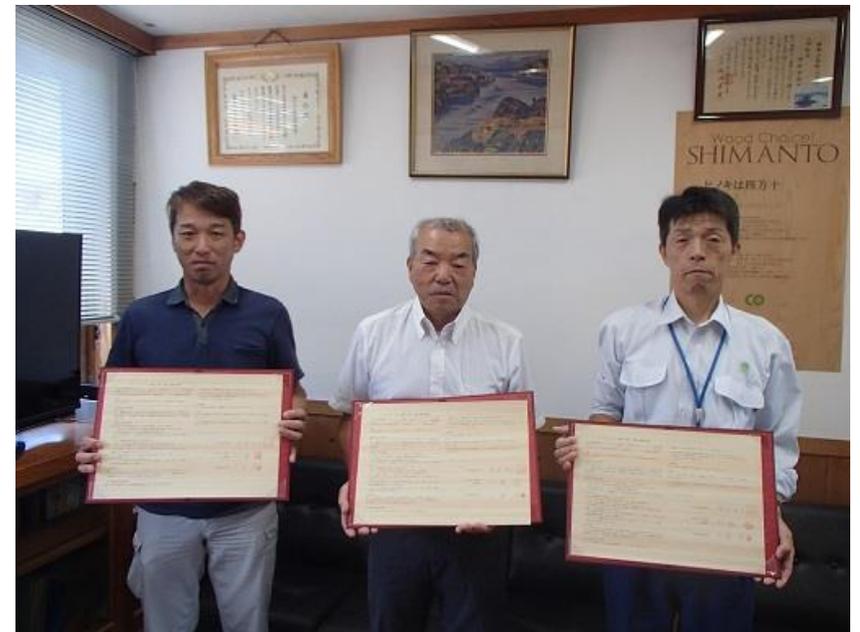
- 令和6年7月8日、四万十森林管理署において、国有林内で事業を実施している事業者・各地区の猟友会・四万十森林管理署の三者による、ニホンジカ捕獲に係る連携した協定を締結。
- 設定した区域で地区猟友会が仕掛けた囲いわなやくくりわなの見回りについて、国有林で請負事業を行っている事業者や国有林職員が区域内を通行する「ついで」に協力をを行う。

協定の内容

1. それぞれの協定区域内において、各地区の猟友会が四万十森林管理署から無償で貸与された囲いわなやくくりわな等の設置を行います。
2. 請負事業者である事業者は作業箇所への通勤時にわなを見回り、あわせて四万十森林管理署職員も国有林巡視や請負現場の監督時などにわなを見回り、ニホンジカが捕獲されていることを確認した場合は、それぞれの地区猟友会に連絡し捕獲してもらうこととなります。

協定の特徴

- ・ 囲いわなやくくりわなは四万十森林管理署より無償貸与が可能
- ・ 各地区猟友会によるわなの見回りに係る労力の低減
- ・ 市町村からの報奨金制度の活用も可能 など



ご清聴ありがとうございました！



森林の環(もりのわ)応援団